

事業概要

岩見沢の「ゆったり」と「雪」を観光に

国内観光全体の傾向をみると、代表的な観光地においてコロナ禍前を上回るまでに回復したといわれていますが、岩見沢も同様に、賑わいが戻ったことを実感しています。最近では「オーバーツーリズム」の弊害が多く報道されていますが、岩見沢市においては、そうした問題もなく、あやめ公園やバラ園、郊外のワイナリーやヴィンヤードなど、広々とした場所でゆったりとすごせることに魅力を感じてくださる方が多いようです。また、今年は主に中国から、雪の風景をもとめて多くの観光客が訪れ、ごみの問題など、受け入れの課題がありつつも、雪が魅力になることを再発見しました。

いわみざわの「ゆったり」としたまちの魅力、きれいな雪景色を観光へ活かしていくことが重要だと感じています。

観光振興事業・北海道観光振興機構事業・旅行業

今年も市内外で行われる様々なイベントに出店することができました。岩見沢の商品を知っていただききっかけにもなり、各商品も好評で、お客様との会話も弾みました。

北海道観光振興機構事業では、空知ワインや日本酒「ゆあみさわ」の魅力を発信することに重点を取組みを進めています。空知ワインピクニックは雨で中止となっていましたが、「ゆあみさわ」などの日本酒と能楽トークを組み合わせたイベントやワインに合うスイーツの開発などに取り組みました。

旅行業については、マイクロツーリズムの取組みとして、東山公園でのあざYOGAやプライベートワインパーティーなど、短い時間でありながら、「ゆったり」過ごして頂ける企画を展開しています。

Webを中心としたプロモーション・広報戦略

観光協会のプロモーション、広報戦略はWebを中心に、多くの人の目に留まるよう様々な工夫をしてきました。旅行客の情報はインスタグラムなど、短く、視覚に訴えるものが力を發揮するといわれており、思いがけない映像が関心を引くなど、手ごたえを感じています。

岩見沢市のふるさと納税PRについても、観光協会のもつ情報やデザイン力が評価され、岩見沢市の委託をうけてと観光協会がカタログ製作などに携わっています。

教育との連携

市内の小中学校や高等学校からの依頼により、様々な授業への協力をしています。最近はタブレットを活用したCM制作の授業希望も多く、子どもたちの関心も高いようです。また、道外の学校とのリモート授業にも協力しており、様々な取り組みが岩見沢に興味を持つもらうきっかけになればと感じています。



いわみざわ彩花まつり

初夏の花を愉しむファーストステージ 7月5日(金)~12日(金)
踊りと花火のセカンドステージ 7月20日(土)~21日(日)

開催場所 ファーストステージ いわみざわ公園「バラ園」、あやめ公園、駅前広場
セカンドステージ 駅東市民広場公園、北海道グリーンランド遊園地

来場者数 踊りとお祭りの広場 3,600人
花火大会 8,000人

満開のあやめ公園



今年のいわみざわ彩花まつりは、花の鑑賞を中心とした7月5日～12日の1週間を「初夏の花を愉しむファーストステージ」、7月20日～21日の2日間を「踊りと花火のセカンドステージ」と位置づけ開催しました。

ファーストステージの期間中、あやめ公園では、恒例のあやめ株やあやめ団子の販売も行われました。バラ園では箏曲演奏や野点のほか、人気の盆栽展も開催し、多くの来場者でにぎわいました。



北海道グリーンランドを開催された花火大会は、薄曇りのお天気となりましたが5,500発の花火が次々に打ち上げられ、約8,000人の来場者の歓声に包まれました。



4回目を迎えたフォトコンテスト、今年は初めて「同じ日の岩見沢の風景」を撮影した写真を応募対象として、フォトセミナー受講の後、各自市内で撮影した作品を集めました。「フラーフォト部門」のほか、新たに「いわみざわの魅力部門」を設けたことで、新たな魅力を発見する機会になりました。
受賞作品は、岩見沢駅ほか市内各所で展示しました。



セカンドステージでは、2019年を最後に開催を見送っていた「いわみざわ観光踊り」を櫓の周りで輪になって踊る形で実施することにしました。

前半は子ども盆踊り、後半は観光踊り。
振り付けを知らないでも踊りの輪に入ることが出来るよう、開始前には踊り指導もあり、あわせて400人の皆さんに踊りを楽しんでいただきました。

そのほか、赤れんがホールでは、ダンスパフォーマンスのほか、フォトコンテスト作品の紹介などをゆっくり楽しんでいただけるよう、飲食コーナーを設けました。

また、駅東市民広場では生産者の皆さん自ら販売する農産物の直売が大人気。キッチンカーでは、暑さでかき氷が人気になるなど、夏の日の一日を楽しみました。



きたむら田舎フェスティバル 8月17日(土)

開催場所 北村中央公園ふれあい広場、北村環境改善センター
来場者数 20,000人

好天に恵まれ、オープン直後から多くの人でにぎわつた会場には味自慢の飲食部門と、おもちゃや野菜などの販売部門のテントが会場いっぱいに並びました。

会場中心のステージでは、5年ぶりに地元岩見沢出身の歌手、彩青のステージのほか、北村プラスと岩見沢まつりプラスのコラボ演奏や、おなじみのイベント「わーるぞカッป」など多彩なプログラムで盛り上がりをみせました。



水面に映る美しさが特徴の恒例「沼上連発花火大会」の時間が近づくにつれ、多くの来場者で会場は満員に。

次々と打ち上げられる花火の迫力と美しさに歓声があがり、暑い夏を彩る一日となりました

栗沢農業祭 8月24日(土)~25日(日)

開催場所 栗沢中央公園
来場者数 22,000人



市内外はもとより、地元のみなさんに愛されている栗沢農業祭、今年は新しい実行委員が本格的に取り組みをすすめ、フェイスブックでのPRなど、新しいPRも功を奏して、例年を上回る多くの来場者でにぎわいました。

前日に建てた大テントが夜の風雨で倒れてしまうというアクシデントがあったものの、祭り当日は気持ちの良い青空が広がり、絶好のお祭り日和となりました。

ステージでは「ふれあい」のテーマにふさわしく、地元認定こども園の子どもたちのお遊戯や小中学校プラスバンド演奏、キッズチアダンスほか、文化協会芸能部会の皆さんやワインズバンド・レルシア演奏、新登場のアイドル歌手EverZOneHIROKIのソロライブなど、多彩な催しで盛り上りました。

今年は、MAYAMAXさんのアート作品が会場を飾ったほか、栗沢ワイナリーコーナーも登場し、伝統を大切にしながら、新しいことにも挑戦した2日間となりました



いわみざわ百餅祭り

9月16日(土)~17日(日)

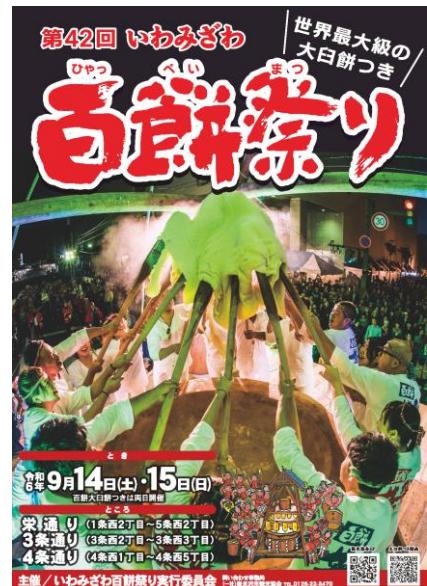
開催場所 中心商店街(メイン会場は4条通り)
来場者数 40,500人

五穀豊穣、健康長寿、商売繁盛を祈願する「第42回いわみざわ百餅祭り」今年も和太鼓連絡協議会の協力により、勇壮な和太鼓演奏で幕を開けました。

毎年雨が心配されますが、1日目の夜に大雨がふったものの、祭り開催中は好天に恵まれ、4万人を超える来場者でにぎわいました。

昨年の子どもツアーズに続き、YEG商工会議所青年部が企画した子ども神輿では、参加した子どもたちが、大きな掛け声とともに神輿を大きく揺らして会場を進み、会場を盛り上げました。

その後に行われた「子ども餅まき」では、お餅をまく小学生も、たくさん拾おうと待ち構える子どもたちも、一緒になって、歓声を上げていました。



4条通りチビッ子百臼や3条通りの子ども餅つきは、今年も大好評で、観光協会にも参加を希望する方から多くの問合せがありました。最近では家庭で餅つきをするということがほとんどなく、お持ちを食べる機会も少なくなってきたといともいわれており、餅食文化を継承していくためにも意義深い事業となっています。

栄通りを行われた「百餅市」には18店舗が出店し、多くの人にぎわいました。

また、今回、知床羅臼観光協会のご紹介により、観光協会ブースに羅臼町の商品を販売するコーナーも設けられ、百餅市ではこれまでなかった海産物の販売に多くの方が足をとめていました。



このほかにも、多くのプログラムで来場者に楽しんでいただいた百餅祭り。

岩見沢を代表するお祭りとして、今年も多くの皆さんのご協力、ご支援のもと、無事2日間の日程を終えることができました

IWAMIZAWAドカ雪まつり

2月8日(土)~9日(日)

開催場所 駅東市民広場
来場者数 15,500人



豪雪地帯・岩見沢で雪に触れ、雪に親しみ、自然を理解し楽しむという趣旨のとおり、たくさんの子どもたちが会場のあちこちで歓声を上げていました。今年もドカ雪滑り台は大人気。プレーパークや北海道教育大学岩見沢校の皆さんの雪遊びコーナー、武蔵野美術大学の雪アートのコーナーも設けられ、自由に遊ぶ姿が印象的でした。焚火のコーナーでは焼きマシュマロが大人気！恒例のジャンボかるたも大賑わいでした。



12月の大雪から、今年は降雪量の心配はないと思われましたが、1月の降雪量が少なく、気温の高い日が続くなど、今年も厳しい条件下での雪像づくりとなりましたが、陸上自衛隊岩見沢駐屯地の皆様のご尽力で、真っ白に輝くドカ雪滑り台とステージが完成しました。

ステージ正面は、ドカ雪まつりのポスターにもある雪だるまが存在感たっぷりに作られ、多くの方が雪だるまと一緒に写真を撮っていました。

開会式は、気持ちの良い青空の元、岩見沢市長はじめ多くのご来賓の皆様にお越しいただき、雪のステージ上で行われました。

開会式に続き、赤レンガホールで開催された自衛隊音楽演奏では、開始前から客席で待つ方も多く、演奏中は多くの音楽ファンであふれていました。

音楽祭りに続いては、子どもたちのダンス！熱いステージが繰り広げられました



今年で2回目となる、ちびっこ人間ばんばでは、大人顔負けのパワーで会場を盛り上げました。

続いて、メインイベントの人間ばんば選手権は、どのチームもさすがの実力で僅差の戦いとなりました。今年は王者・自衛隊を破った岩見沢ガスチームが熱戦を制しました。

豚汁や椎なべの無料配布、ドカ雪屋台村など、飲食コーナーも大賑わいとなり、2日間、にぎやかに開催することができました。



レバンガ北海道vs宇都宮ブレックス戦 北海道大感謝祭 4月13日（土）

開催場所 北海きたえーる（札幌）

岩見沢市民応援デーということでレバンガ北海道の試合会場のきたえーるホールにて物販を行いました。販売はパンなどを中心に行い、いわみちゃんも登場したため、岩見沢のPRもスムーズに行うことができました。

東京大地会 6月1日（土）

開催場所 学士会館（東京都千代田区）

東京在住の岩中・岩高・岩東卒業生からなる東京大地会にて物販を行いました。



販売前の準備風景

今回からキャッシュレス決済を導入したところ大変好評で、売り上げの半分はキャッシュレスでの対応となりました。また、用意した商品もほぼ販売することができました。

ローズフェスタ 6月29日（土）、30日（日）、7月7日（日）、15日（月）

開催場所 いわみざわ公園バラ園敷地内

いわみざわ公園バラ園でのローズフェスタ開催時期にあわせて4回の出店を行いました。



テントでの販売風景

4回のうち 1回は天気が悪く、色彩館にて販売を行いました。観光協会1店舗のみの出店だったため、お客様から何店舗があるといろいろ見れて楽しいのではというお話をいただきました。



色彩館での販売

全道商工会議所大会 7月5日（金）、6日（土）

開催場所 ホテルサンプラザ1階、まなみーる

全道商工会議所大会の懇親会がホテルサンプラザで行われ、1日目にサンプラザ1階ロビーにて販売を行いました。2日目は大会がまなみーるで行われ、全道からの商工会議所会員の方にたくさんのご購入をいただきました。岩見沢以外の空知の商品も陳列しましたが、商品が足りなくなるほど販売を行うことができました。

彩花まつり ワイン販売 7月20日（土）

開催場所 赤レンガホール

彩花まつりの会場にて空知ワインを多くの方に知っていた
だくため、グラスでの販売を行いました。



会場が暑かったためワインの販売とともにリンゴジュースの販売も順調に行うことができ
ました。お客様からは、ワインの他にもビールの販売を行ってほしかったという声が多く
聞かれました。

空知のワインを販売

第67回 北海道小学校長会教育研究 空知・岩見沢大会 9月13日（金）、14日（土）

開催場所 まなみーる



全道の小学校長の空知・岩見沢大会ということで、全道各地から多くの
方でにぎわってました。

会場では観光協会のパンフレットも提供したほか、いわみちゃんも登場
し、岩見沢のPRも行うことができました。また販売も学校へのお土産として
購入される方が多く、その中でもこぶしは大人気となりました。

さっぽろオータムフェスト 9月26日（木）～29日（日）

開催場所 札幌市大通公園8丁目会場

9月6日から行われたオータムフェストの最終期の4日間出店。今回は岩見沢産のきじ肉を使用したイ
ンドの「チキンビリヤニ」と岩見沢産の小麦を使用した「カヌレポン」を中心に販売しました。「ビリヤニ」は
お客様の要望に合わせて普通盛と大盛を用意し、好評でした。今回のオータムフェストの来場者数は
2,506,000人で昨年よりも多く、4日間の出店中も多くのお客様でにぎわいました。

観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2024 10月8日（火）、9日（水）、10日（木）

開催場所 アクセスサッポロ（札幌）

はまなす財団様からのお声がけにより、はまなす財団様ブースにて出店しま
した。PR出店だったため、そらちワイン醤油、ハンバーグソースを使用した試食
を来場者の方に召し上がっていただき、
特産品のPRに努めました。



試食準備の様子

日本公衆衛生学会総会 11月29日（火）、30日（水）、31日（木）

開催場所 コンベンションセンター（札幌）

北大COI-nextからのご紹介により、コンベンションセンターで行われた学会総会に出展しました。
各地方から多くの関係者の方でにぎわっており、そらちワイン醤油に興味を示された方が多くいらっしゃいま
した。遠方からの方も多く、個数の多い商品よりも軽く持ち運びやすい商品の人気がありました。

レバンガ北海道岩見沢市民応援デー 1月25日（土）

開催場所 北海きたえーる（札幌）

北海きたえーるでレバンガの市民応援デーがあり、岩見沢市の特産品を販売しました。

前回、パンを販売したのですが思うように売れなかつたため、今回はパウンドケーキを多く持つていったところ50個が早々に売り切れました。また、そのほかの商品もほぼ完売し、いわみちゃんも登場したことであつ場も盛り上がっていました。



大活躍のいわみちゃん

第58回 北海道技能士フォーラム岩見沢大会 2月15日（土）

開催場所 サンプラザ

サンプラザで行われた懇親会会場の入り口で岩見沢の特産品を販売しました。

会場ではお土産をお求めになる方が多く、箱ものなどを中心に早い時間に売り切れる商品もあり、時間内に持参した商品が完売となりました。

空知おいしいものマルシェ in 三井アウトレットパーク札幌北広島2025 2月24日（月・祝日）

開催場所 三井アウトレットパーク札幌北広島

空知信用金庫様からの紹介で、空知おいしいものマルシェに出展しました。空知は岩見沢の他、三笠市、美唄市、由仁町、栗山町、長沼町、南幌町が参加し、多くの方が来場されていました。

今回は、1月に試食会を行つた「ワインとのマリアージュスイーツ」の新商品を販売し、好評を得ることができました。



会場内の様子



ブースの様子

岩見沢駅正面にカフェI-Three EIGHTをオープン 12月6・7日プレオープン 12月9日オープン

2023年4月から空き店舗となっていた、岩見沢駅舎正面の一室をカフェスペースとして改修、岩見沢駅やバスタークナルをご利用のお客様、観光で岩見沢を訪れたお客様がくつろげる場所を提供するため、カフェ I-Three EIGHT(アイスリーエイト)をオープンしました。

くつろぎの中で岩見沢産の良いものを提供するをコンセプトに、リココーヒーのコーヒー豆を採用するほかノースファームストックやはのぼのファームのジュース、岩農牛乳を使ったソフトクリーム(※牛乳販売状況による)など、「岩見沢」にこだわって運営しています。



【営業時間】 11時00分～19時00分

(ラストオーダー 18時30分)

【休日】 不定期 (月に1～2日)

店舗正面にカレンダーを提示

【従業員】 アルバイト(7名)、シフトにより1名配置

【客席】 10席 (コンセント、USBポート完備)

メニュー

アメリカン・エスプレッソ (リココーヒー)

カフェラテ・ホットミルク・ココア

ノースファームストック ソーダ4種

ほのぼのファームトマトジュース

オレンジジュース

缶茶 (IZANA)

ビール (ナツ付き アサヒ・コロナ・ハイネケンの3種)

ソフトクリーム (可能な範囲で岩農牛乳使用)

スイーツセット (コーヒー・紅茶と日替わりスイーツ)

日曜限定ホットサンド (単品、コーヒー・紅茶とセット)

オープン時には、たくさんのお祝いやお花を頂戴しました。
ありがとうございました。



今後は、軽食メニューなどを充実させるほか、夏に向けたコールドドリンクメニューを検討するなど、収益向上に向けて取り組みたいと思います。

そらちワインの魅力情報発信プロジェクト (令和6年度伴走支援型観光地域力強化推進事業 広域連携枠)

昨年度から行っている「そらちワインの魅力情報発信プロジェクト」の2年目事業として、さらなるそらちワインの魅力を発信すべく、様々な事業に取り組んでいきます。

■ そらちワインピクニック

8月31日(土)に実施予定でした「そらちワインピクニック」ですが、荒天と雷雨のため、当日中止の判断をいたしました。当日判断だったため、多くのお客様が来岩されてらっしゃったこともあり、駅東広場のワイン受付ブースで急遽ワインの試飲を行い、ワイナリーの方や振興局の方々、当日スタッフの協力で多くの方にワインを提供することができました。



ねぶた会場ワインブース



試飲会場



試飲会場

■ ワインに合うマリアージュの開発

そらちワインの魅力をもっと多くの人に…をコンセプトに、三笠市の「IMO melon NANKIN」に協力をお願いし、地元の食材を使った商品を7商品開発していただきました。1月28日に7商品の試食会を行い、ワイナリー関係者やソムリエ、振興局の方たちに参加してもらい、意見をいただくことができました。来年度に向け、商品の販売場所、プロモーションなどを積極的に行っていく予定です。



試食会の様子



開発した新商品



ワインとの相性も楽しみました

■ 能と日本酒

2024年11月9日(土)

能の話を肴に日本酒を楽しむ会として「能と日本酒」を岩見沢平安閣で開催しました。講師に、シテ方宝生流の若手能楽師の藤井秋雅先生をお招きし、能についてのお話を聞かせていただきました。



50名のお客様たちと和気あいあいとした雰囲気の中、謡体験などを行い、能を楽しむとともに地元のお酒ゆあみさわや奈良県の猩々のお酒などを楽しんでいただきました。

藤井先生と記念写真



「能と日本酒」ちらし

■ そらちワイナリーモニターツアー

今回、今後の商品化等を検討するために、岩見沢市など空知エリアのワインや食を愉しむことができ、ワイナリーや酒造などを巡るツアーを11月30日(土)、12月14日(土)の2回行いました。

各回8名の参加で、モニターツアーの満足度は1回目が満足88%、やや満足12%、2回目の満足度が63%、やや満足が37%と満足度の高いツアーとなった。また、ガイドや説明があった立ち寄り箇所のほうが満足度が高い傾向だったため、次回からはガイドィングできるガイド人材の育成なども視野に入れて、ツアー造成を進めていく必要があると思われました。



馬追蒸溜所



くりやまアンドアム



宝水ワイナリーで
ワークショップ



メープルロッジで
ワインの試飲

■ 空知ワインガイド養成

ワインガイド養成については、ワイナリーの方から「せっかくワイナリーに来てもらっても、繁忙時期は案内が出来ないため、ワイナリーの人がいなくても案内してくれるガイドなどがいたら、もっとワイナリーやワインのファンを増やすので」というお声があり、そらちワインのファンを増やすためにも、ガイドの養成が必要不可欠であると思われたため、今年度から本格的にワインガイドの養成を行いました。

11月17日、12月8日の2日間、道東で畠ガイドを養成していらっしゃる、株式会社いただきますカンパニー 代表取締役の井田 芙美子さんを講師に迎え、講義、ワークショップを行い、ワインガイドの実践的なセミナーを行いました。1月26日には、ワインガイド認定試験を行い、筆記・面接を終え、9名のガイドを輩出することができました。



講義風景



ワークショップの
様子



ワインタクシー内の
ガイド想定



グループでガイド研修

今年度の「そらちワインの魅力発信プロジェクト」は令和6年度伴走支援型観光地域力強化推進事業 広域連携枠において 「優秀賞」を受賞しました！



事業別の主な内容 旅行事業

東山公園あさYOGA＆カラダに優しい朝食 6月15日（土）6:00～7:00

東山公園にて朝食付きの朝YOGA体験を実施。8名の方が参加し、朝のさわやかな時間のヨガを楽しんでいらっしゃいました。またキタノカオリのサンドイッチも好評で次回の開催を期待する声もあがっていました。

参加料 朝食付き 2,000円



HOUSUI WINERYでかごづくり＆ピクニック 6月15日（土）10:00～12:00

宝水ワイナリーのぶどうのつるを使ったかごづくりに4名の方が参加し、カンガルーファクトリー大和田さんご夫妻を講師に迎え、それぞれの希望の大きさのかごを作ることができ、満足感のある体験となつたようです。またランチにカフェヘリングスのサンドイッチをお渡しし、ワイン畠を見ながらランチを楽しんでもらうことができました。

参加料 ランチ付き 5,000円



そらちワインタクシー事業 7月1日（月）～10月31日（木）

期間中、34台113名の乗車がありました。今年度は7月の全道商工会議所大会のお客様の乗車もあり、参加人数も多くなりました。アンケートによる再訪意欲も高く、来年度のそらちワインタクシー事業への期待値も高まっているようでした。

販売価格 1台4時間 15,000円



IWAMIZAWA プライベートワインパーティー 3月14日（金）、21日（金）18:30～20:30

14日には宝水ワイナリーから、21日にはYAMAZAKI WINERYからゲストをお招きし、少人数でワインとおしゃべりを楽しむパーティーをログホテルメープルロッジにおいて開催しました。2日間で15名の皆さんに参加し、空知ワインの特徴や魅力など軽快なトークとともにワインとお料理を楽しんでいただきました。

参加料 ディナー付き 5,000円



陶芸体験＆おそばランチ 3月29日（土）

こぶし焼きの器をつくる陶芸体験と、こぶし焼きの食器でランチを楽しむ会を組み合わせた企画で、8名の方が参加しました。定員に達してからも多くのお問合せを頂き、今後の展開につながる事業になりました。

参加料 体験・ランチつき 3,500円



デジタルサイネージと観光協会InstagramとHPの連携による 観光・旅行者向けの情報発信強化

岩見沢市では、令和6年3月、市内の観光施設や主要な公共施設などに、訴求力が高く、視認性の良いクラウド管理型デジタルサイネージを設置。行政情報の他、観光・イベントや、飲食店の情報などをタイムリーに表示することで、人の流れを呼び込み、観光周遊の促進、活気あるまちづくりにつながることを目指しており、現在、多くの方に活用されています。

タッチ式デジタルサイネージ（4台）

- ・タッチコンテンツのボタンをタッチすることで見たい情報を引き出す。
- ・上段「市からのお知らせ」中段「タッチコンテンツ」（HPとの連携）
下段「岩見沢市観光協会インスタグラム」
- ・観光協会Instagramアカウント・HPとの連携
- ・多言語対応
- ・岩見沢駅構内 1階
- ・ログホテルメープルロッジ
- ・北村温泉ホテル
- ・いわみざわ公園バラ園



駅に設置された65incのサイネージ

※ 非タッチ式デジタルサイネージは、北村支所・栗沢支所・いわみざわ健康ひろば・まなみーるなどに設置されています。
非タッチ式のため、タッチコンテンツは見ることができません。

岩見沢市観光協会HPのリニューアル よりユーザー目線で使いやすいサイトへ

岩見沢市観光協会ホームページをリニューアルしました。

旧観光協会ホームページの利用実績をもとに、アクセス数の高かった項目を強化するなど、より使いやすくすることを目指しました。

また、外国人観光客のため、多言語化にも対応しています。



- ・旧サイトでアクセス数の高かった項目を強化
- ・カテゴリの選定でユーザーが選びやすく
- ・多言語化
- ・イベントページの充実
- ・NEWS/TOPICSとイベントの区分けで見やすく
- ・別に存在していたいわみちゃんサイトを閉鎖し、HPで一元化
- ・デジタルブック紐づけ（ふるさと納税・体験など）
- ・オンラインサイトとの導線強化
- ・年間イベントスケジュール掲載
- ・その他

岩見沢市内の各種ロケハン対応 撮影・協力可能エリア（スポット）の増強業務

北海道内で撮影したドラマや映画の人気が高いことや、ネットフリックスなど動画配信サービスでのオリジナルドラマ制作が盛んになってきたことなどが影響しているためか、今年に入って、市内でのロケハンや制作会社への情報提供業務が増えてきています。

いわみざわロケーションオフィスとしては、札幌FCやJFCからの撮影スポット情報依頼に対応してその都度情報提供をし、必要であれば制作者が求めるイメージに近い場所の撮影も行うなど、FCとして密に連携を図りながら業務を行っています。

※ ロケハンとは

ロケ地を決定するために、写真や映像を実際に撮影する前に、撮影で使用する場所を事前に下見することを指します。また、当日の動きを想定するため「下調べ」までを全て念入りに行う場合も少なくありません。

制作関係者は一つのテーマに対し複数のロケハン候補地情報を持つておらず、北海道には小樽や十勝・道東など北海道らしさを一つの地域で表現できる地域も多いことから、実際にロケハンを行っても成立する確率は現状高くはありません。



監督、ディレクター、美術、制作会社と合同でのロケハン

ロケハン協力：岩見沢緑陵高等学校

JLDB（全国ロケーションデータベース）活用による ロケ地情報の提供

The JLDB website features a search bar at the top with dropdown menus for 'お知らせ' (Announcements), 'ロケ候補地一覧' (List of Filming Locations), 'お問い合わせ (お問い合わせ)' (Contact), 'FC一覧' (List of FCs), '制作・機材・サービス会社一覧' (List of Production, Equipment, and Service Companies), and '撮影に関する法令・申請方法' (Legal Requirements and Application Methods). Below the search bar are three main filter sections: 'キーワード' (Keyword), '地域' (Region), and 'カテゴリ' (Category). The '地域' section includes a '地図' (Map) button. The 'カテゴリ' section includes buttons for '360°VRツアー・動画' (360°VR Tours and Videos), '3DVRツアー・動画' (3D VR Tours and Videos), and 'その他' (Others). The 'キーワード' section includes a '岩見沢' (Iwamizawa) input field and a '検索' (Search) button. The main content area displays a 'ロケ候補地一覧' (List of Filming Locations) for '利根別自然公園 北海道岩見沢市利根別五丁目地' (Rishiri Natural Park, Iwamizawa City, Hokkaido). It shows a thumbnail image of a lake and forest, a brief description, and a 'お問い合わせ' (Contact) button. At the bottom, there's a preview of another location entry for '北海道岩見沢緑陵高等学校' (Rishiri Greenland High School) with a thumbnail image of the school building.

JLDBは、映像制作に関わる企業などが、日本国内や北海道内でロケ地を探すときに参考にするデータベースです。

(2023年から、JFCとVIPOが受託し運営中)

岩見沢市も2024年から利用を開始し、多くの制作関係者の目に留まり、ロケ地イベントでも有効活用できるように、随時情報を更新しています。

<https://jl-db.nfaj.go.jp/>

今後の予定

今後、岩見沢市内で2つの雑誌撮影を予定しています。

また、2025年1月には、JFCロケ地フェア冬に、いわみざわロケーションオフィスとして参加し、岩見沢の魅力をPRしてまいります。

包括連携協定記念プロジェクト クラフトビール “iwamizawa ROSE ALE”

空知信用金庫(北海道、熊尾憲昭理事長)は、11月20日、東京都大田区のよい仕事おこしプラザで、北海道岩見沢市とよい仕事おこしネットワーク(事務局＝城南信用金庫)が連携して開発したクラフトビールの完成披露式を行いました。

ここに、岩見沢市の花、バラを原料として使用した「iwamizawa ROSE ALE」が誕生。

岩見沢市観光協会は、クラフトビールのラベルデザインと商品ネームを担当しました。



ほんのりバラ色のビールがROSEらしさを



クラフトビール完成披露式での松野市長



◀今回誕生した“iwamizawa ROSE ALE”ペールエール。

Design Concept

岩見沢を象徴する、グリーンランドの観覧車・JOINALIVE開催の野外音楽堂キタオン・鉄道のまちらしいレールのオブジェを組み込んだDesign。ROSEの華やかな香りにDesignでPOPさをプラスし、軽やかな気分で楽しめるクラフトビールをイメージしています。

限定40本をログホテルメープルロッジで販売！ NEW OPENの「I Three EIGHT」CAFÉでも

岩見沢の花・バラのクラフトビール完成 メープルロッジで販売 限定40本 空知信金など連携 東京でお披露目

東京での完成披露式後、限定40本をログホテル・メープルロッジで販売中。(1本 880円)



今後はイベントの実施など、状況にあわせて追加製造を考えており、岩見沢駅構内にOPENした「I Three EIGHT」CAFÉでも限定販売する予定です。(時期未定)

夏フェス「JOIN ALIVE」参加アーティストへ向けた 岩見沢からのおもてなし

岩見沢市役所観光物産振興課と協力し、毎年岩見沢市で開催する北海道最大規模の野外音楽イベント「JOIN ALIVE」のアーティスト控室に、岩見沢らしいお菓子やお米などの詰め合わせをセッティング。

2024年のJOINカラーに合わせたオリジナルPRポップのデザインや商品の紹介カードを制作し、全アーティストに岩見沢のPRと含めたおもてなしをさせていただきました。

(2日間で全66組分)



SNS/WEBを通じての岩見沢の魅力発信

観光協会で運用しているHP以外のSNSツール

- Instagram
- X(旧Twitter)
- Facebook
- その他 Youtube



Instagram



X



Facebook



Youtube

	Instagram			X	Facebook	
	投稿	リール動画	ストーリー	投稿	投稿	ストーリー
最大リーチ	8, 353	6, 487	1, 460	32, 318	10, 889	-
平均リーチ	4, 125	5, 360	678	1, 398	1, 507	-
最多動画再生数	-	8, 156	-	-	-	-
平均動画再生数	-	7, 588	-	-	-	-
最大インプレッション	11, 536	-	1, 168	32, 318	10, 889	
フォロワー		5, 075		1, 205		2, 963

岩見沢市観光協会のSNSでは、岩見沢市内を中心に、魅力的な観光スポットやイベント情報、グルメ、新店情報、地域との繋がりなど、様々な情報を随時発信。

各SNSによって、メイン年齢層、性別、ツールの使用方法も様々であるため、投稿する際はターゲットや写真の選定(順番含む)投稿タイミングなどを調整し、同業アカウントへのリサーチを行いながら運用しています。

2024年に入ってからも、運用SNSの中でInstagramの影響は大きく、現在は5,000フォロワーを超えました。他のSNSツールも投稿を重ねることによりフォロワーが増加しているため、魅力的な投稿はもちろん、アカウントを常に動かすよう心掛けています。

各観光協会アカウント投稿数（2024年度4月～11月22日現在）

Instagram **202** (投稿・動画・ストーリーの合計)

X **79** (投稿・リポストの合計)

Facebook **143** (投稿・ストーリー・シェア合計)

SNS/WEBを通じての岩見沢の魅力発信 (SNS)

Instagram

投稿

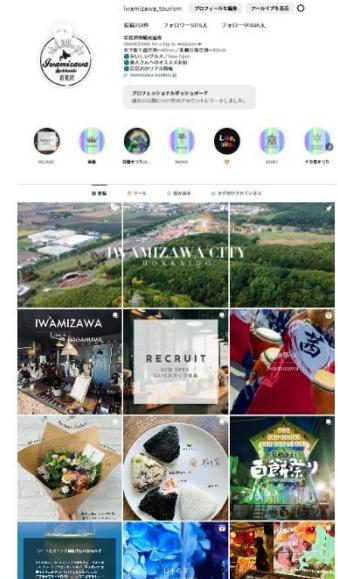


岩見沢近郊地域も含めて撮影・取材を行っています。上記投稿は、長沼のばいせん屋habu

リール動画



岩見沢おにぎり屋 稲と空の投稿
→その後、観光協会でテストマーケティングを行いました



岩見沢市観光協会公式アカウント

Facebook



文字数制限 140 文字

NEW OPENの情報や、お祭り関連（とくに百餅祭り）の投稿の反響が大きい。

SNS/WEBを通じての岩見沢の魅力発信（その他媒体）

デジタルでの情報発信・PR

すすきの大型ビジョン「SABRO.TV」PR



放映期間：9月1日～9月14日 2週間

30秒間の岩見沢PV動画を2種類放映。

インバウンドを含めた観光客や、人流が戻ってきた札幌(すすきの)での大型ビジョンPRを行いました。百餅祭り開催までの2週間の放映期間となるので、通常Verと百餅シーン入りVerの2種類を交互に放映。

札幌 狸COMICHIでのサイネージPR

狸COMICHIの2階にある「イベントスペース」にあるデジタルサイネージでIWAMIZAWAプロモーションPR。



放映期間：6月25日～現在も継続中



WEB媒体

地域情報「里アプリ」



【北海道・岩見沢市】バラ園、ブドウ畠と自然が広がりワインや食を楽しめる

<https://wakaba-pha.co.jp/satoapp/179/>

「里アプリ」は、全国の隠れた魅力を再発見する地域情報WEBメディア。美味しい水の提供、酒造会社、隠れた地元の名所等幅広いカテゴリーの情報を網羅しているサイトです。

縁結び大学



自然と共生する映えスポット！

岩見沢市のフォトジェニックな光景を楽しむデート

<https://jsbs2012.jp/date/sightseeing-iwamizawa>

縁結び大学は、出会いから結婚までを幅広くサポートする情報メディア。自治体のデートスポットなどお出かけ情報を提供するポータルサイトです。

岩見沢市ふるさと応援寄附と連動した 地域の魅力発信業務

日本全国に岩見沢の魅力を広く効果的に発信し、ふるさと応援寄附の維持・拡大はもちろんのこと、知名度向上や関係事項の獲得を図ることを目的とした「岩見沢市ふるさと応援寄附」に係るプロモーション業務については、市から委託を受け、岩見沢市観光協会が担当しています。

基本業務

- ①岩見沢市のふるさと応援寄附のPR展開
- ②返礼品の新規発掘・付加価値向上(返礼品事業者との連携強化)など
- ③岩見沢市が提供する返礼品の管理(②との連携)
- ④その他

観光協会HPでのバナー設置



HPやパンフレットへバナーの設置やQRコードを掲載し、ポータルサイトへの導線を作っています。

SNSでのふるさと納税PR



観光協会SNSでは、定期的に返礼品のPRをしています。

(記事にサイトへのリンクも掲載)



ポータルサイトで掲載する返礼品写真の撮影や、サムネイル・トップに使用する写真へのデザインなども行っています。



観光協会管理返礼品 サムネデザイン・撮影



ふるさと応援寄附返礼品カタログ、PRパンフレットのデザイン一新！ 観光協会HPでもデジタルパンフとして閲覧可能に。

■「ふるさと応援寄附返礼品BOOK3」全36P



多くの返礼品から選りすぐりのものをチョイスした返礼品BOOK。今回からデザインを一新し、どんな返礼品があるか、わくわくするような表紙と、カタログというより、雑誌風の雰囲気を感じるBOOKへとシフト。

寄附金の活用事例では、除雪業者ある馬淵建設様へ取材をさせていただき、岩見沢市民の冬の暮らしを守る大事な除排雪事業についての特別ページも制作しました。

雑誌ティストの返礼品冊子にリニューアル！ より事業者の魅力がたっぷり詰まった一冊に

道内・道外の方へPRを目的としている、ふるさと納税の冊子をリニューアル！

こちらの冊子は、主にイベント等への出展や観光協会などで配布予定のものです。今までのデザインを一新し、雑誌ティストが強くなっています。事業者にフォーカスしたページやその時々の魅力的な返礼品をピックアップし、ふるさと納税に係わるスタッフの想いが込められた一冊となります。



■返礼品ポータルサイトでの自治体情報の発信

ふるさと納税ポータルサイトの自治体情報は、それぞれの自治体の情報をPRする部分となっており、ふるさと応援寄附返礼品の紹介とともにその商品や生産者のストーリーと思いを伝える記事や、返礼品以外にも、岩見沢の魅力的なイベントの情報なども記事を作成し定期的に発信しています。



カンガルーファクトリーが手掛ける、自然採取の作品を。
2024/09/30(月) 13:23
北海道岩見沢市の美流渡という地域に、2015年に横浜市から移住してきた大和田ご夫妻。(カンガルーファクトリー)
9年の間に土地の開拓、庭づくりに長年力を注ぎ、ようやく自分たちのカタチになったと話してくれました。

ガーデンで収穫した自家栽培のハーブや花を使用することで、繊細の中には大地からの生命力を感じられ、カンガルーファクトリーでしか生み出せない、唯一無二の素敵なお品を提供してくれます。
(手作りブーケは、岩見沢市観光協会店舗(JR岩見沢駅1階)で2024年6月より販売中)



また、岩見沢市ふるさと納税返礼品としても人気があり、アーティフィシャルフラワー（高品質の造花、MAGIQ仕様）を使った生花に近いリアルなースや、ツリー、アレンジメントなどが選べ、ご自宅用としてだけでなく、ギフトとしてもおすすめです！

▶ 北海道岩見沢市のふるさと納税はこちら



地域の魅力を知る「CM動画作り」の授業 清園中学校、日の出小学校

小学校・中学校で支給される「Ipad」を使用し、地域の魅力が伝わるCM制作づくりということで、映像制作授業の講師をしています。動画を撮影するうえでのポイントやターゲットの定め方、撮影方法、選曲と編集のコツなど、実際に観光協会で撮影し編集しているInstagramの動画を見ながら授業を行いました。



動画づくりの授業後には、実際に岩見沢市内に撮影や取材に行き動画の素材集めをして編集作業。児童たちの制作した動画は、それぞれの学校で発表会を開催。観光協会として講評なども行っております。
←清園中学校の発表会の様子
※3月24日には日の出小学校での発表会にも参加予定

地域探求授業への協力 岩見沢東高等学校、岩見沢緑陵高等学校

岩見沢東高等学校の「GANTOゼミ」や岩見沢緑陵高等学校の「課題研究」「地域探求」の授業への協力をしています。学校で授業を行うほかに、高校生が観光協会の事務所に来所して職員から聞き取りをすることも多く、外国人観光客の傾向や、SNSを活用した広報についてなど、インバウンドとSNSツール活用や、イベントが出来るまでの過程など、生徒の興味関心も多岐にわたっています。



合併前の最後の岩東ゼミには、多くの道内大学・自治体関係者が参加し、各班の発表後は質疑応答などの時間も設けられた。

「まちの歴史や魅力を知る」授業 北真小学校、第2小学校、緑中学校

まちの歴史や魅力を知る授業として、各学校からの依頼に応じた授業を行っています。

北真小学校は、まちの歴史を振り返りながらいわみざわ複合駅舎の見学ツアーを行いました。

第二小学校は、岩見沢のすごいところを観光の視点からみるという授業をしました。きれいな風景やお祭りは私たちの暮らしどつながっているということに気づいてもらいました。

緑中学校はJC岩見沢青年会議所と連携しいわみざわ百餅祭りについて知るため、3条倉庫の見学を行いました。祭りの実施には、多くの人の協力が必要であることを説明した後、倉庫内を見学。大臼や櫓の大きさに驚き何枚も写真を撮っていました。



大臼がやぐらの真ん中に置かれました。
直径2.2m、高さ2.1m、重さは5.5トンです。



いわみざわ百餅祭り



2024年9月14日(土)・15日(日)

道外の学校からの依頼にもオンライン授業で対応！



福井県高浜町立内浦小学校の総合的な学習の時間において「CM作り」「キャッチコピーの作り方」のリモート授業を行いました。キャッチコピーの作り方では、有名企業の商品・製品キャッチコピーを共有しながら、実際に視聴者が持つ印象と企業が伝えたいメッセージの融合性も含めて授業を行い、その後も実際に仕上がった動画へのアドバイスも含めて対応しています。

授業によって応募したCM動画が

令和6年度「ふるさと福井CMコンテスト」で奨励賞を受賞！

■高浜町立内浦小学校 3～6年 内浦もりあげ隊 自然がいっぱい内浦！

今回の授業で2班に分けて動画を制作。

それぞれの班の個性が際立った動画で、そのうちの1班で奨励賞を受賞！

オンラインで完成報告会とサプライズで受賞報告があり、

児童たちの喜びの声を直接聞くことができました。

